



学校教育目標 **自主 友愛 鍛錬** 教師も生徒も伸びる学校

＜3学期は「まとめの学期」です＞～1日1日を大切に生活していきましょう～

あっという間に冬休みが終わってしまいましたが、生徒の明るい表情から、休みを計画的に過ごし、3学期に向けて十分に心身を休めることができたことを感じ取れます。また、ケガや事故の報告もなかったことから、安全と健康を意識して休みを過ごしてくれたのだと思っています。

さて、3学期は、次年度に向けての準備をしていくことから「まとめの学期」とよく言われます。登校日数が一番少ない学期ですが、次年度に向けて、家庭生活も含めて生活のすべてにおいて自分の足りないところを補完する学期になりますので、生徒の皆さんには、一日一日を大切にしながら3学期を過ごしてほしいと願っています。

始業式の校長講話の中で、私はスライドを使いながら、3学期の生活に関わって、下記の内容を全校生徒に伝えましたので、ご家庭での話題にいただければ嬉しく思います。

○3学期は「1年間のまとめの学期」と言われる大事な学期である。まとめるとは、「今まで学習してきたことを振り返り、できていないことがあればできるようにし、次の学年へ進む準備をすること」である。私は、この3学期に、全校の皆さんに、教科の学習以外で、振り返って、よくしてもらいたいことが二つある。

○一つは「人間関係」についてである。もし、友達や家族との誰かとの関係がぎくしゃくしていたら、しっかりと修復し、明るく晴れやかな気持ちで次へ進んでほしいと思っている。関係が悪くなってしまうのはお互いに原因があると考えていこう。意地を張って相手のせいにしては、関係は悪化してしまう。自分の非を感じたら、それを素直に認め、謝っていくことが、人間関係を修復するコツである。(小学校6年生の3学期始業式での言葉を紹介する)

○もう一つは、「挨拶」である。北中生の挨拶は地域の方から褒められることがあり、私もとてもよいと思っているが、さらによくして、自慢の一つにしてほしい。「挨拶」と言えば、誰もが北中生を思い浮かべてもらえるように。「進んで・笑顔で・大きな声で」という3つがそろった「爽やかな挨拶」ができるようにしていこう。

○3学期の登校日数は、47日。この3学期が、全校の皆さんにとって、次につながっていく、価値のある有意義な学期になればと願っている。



※本題である「3学期の生活」の話題に入る前に、「丸子地域の元旦マラソンに参加した様子」を伝え、「冬休み中に制作したジグソーパズル(1000ピース)」をクイズ形式にして紹介しました。気温が低い中、話が長くなってしまい、申し訳なく思っています。

※終わりには、元日の夕方に発生した震災に触れ、「災害はいつ起きるのか予測はできない。自分の命を守るために、防災意識をもって日々生活し、万が一のことについて考えておく必要がある」ということを伝え、講話を締めくくりました。この度の能登半島地震で、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

保護者の皆様と協力し合って、生徒一人一人の力を、着実に伸ばしていきたいと思っています。今年も大変お世話になりますが、何卒、よろしくお願いいたします。

